

14 地域医療部

医療法で制度化された医療機関の機能区分である地域の病院、診療所、歯科医院の医師等を後方支援する機能を拡充し、『地域医療支援病院』の設置基準獲得に向け、2012年度に地域医療部が新設されました。

2014年度は、地域医療部長（泌尿器科部長）のもと18人（看護師：8人（担当課長1人、担当係長1人、非常勤6人）、事務：6人（担当係長1人、非常勤3人、委託2人）、医療ソーシャルワーカー（かわさき総合ケアセンター兼務）4人）体制で業務を行いました。

I 地域医療部理念

井田病院地域医療部は、地域医療機関との円滑な医療連携を図り、質の高い、安全で安心な医療サービスを地域住民に提供します。

II 地域医療部の基本方針

- 1 かかりつけ医の要望に100%応えるように努める。
- 2 診療情報提供書を患者様のパスポートとする。
- 3 紹介患者様の治療が終了した後は、紹介元へ戻し継続医療を推進する。（逆紹介）
- 4 地域のかかりつけ医のいない患者様を地域医療機関に紹介し、継続医療を推進する。
- 5 地域連携パスを整備し、運用を図る。
- 6 地域に根差した医療を継続して提供するため、情報収集・提供を行い、地域とのコミュニケーション活動を図る。

III 地域医療部の業務内容

1 前方看護師

- ・地域の医療機関等からの紹介患者の外来診療・検査（上部消化器管内視鏡・CT・MR・シンチ等）の予約受付
- ・企業等からの健康診断二次精査に関する受診者対応
- ・紹介元医療機関及び当院医師に対する診療情報提供書の依頼
- ・診療情報提供書作成支援
- ・他院から当院への転院調整
- ・病院・診療所等の情報検索
- ・紹介医療機関のマスタ管理
- ・地域医療連携に関するパンフレット等作成

2 後方看護師

- ・病棟カンファレンスに参加し、患者の症状確認と退院調整への介入
- ・ケースワーカーとの連携による退院調整
- ・施設基準に関する情報収集、院内調整、統計資料作成
- ・訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携

- ・他院の退院調整看護師との連携
- ・転院患者の転院先病床区分の調査集計
- ・看護必要度の支援業務

3 ケースワーカー

- ・入院患者の退院支援
- ・患者・家族への施設紹介
- ・退院日程の調整、退院後における医師、施設との連携

4 緩和ケアコーディネーター

- ・緩和ケア内科初診予約
- ・緩和ケアに関する研修計画及び調整

5 がん相談員

- ・がん相談支援センターの運営
- ・がんに関する相談
- ・セカンドオピニオン受付

6 事務（委託を含む）

- ・部庶務
- ・地域医療機関への広報（外来診療表等）の送付
- ・症例検討会、市民公開講座等の企画・運営
- ・がん検診、特定検診、人間ドック等に関する受付業務、救急患者データエントリー等統計資料等作成、料金調定業務
- ・（仮称）健康管理センター開設準備
- ・地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院など地域医療部に関する届出事務
- ・地域連携委員会、地域がん診療連携拠点病院推進委員会、市民交流委員会、健診等運営委員会などの事務局・書記・庶務業務

IV 地域医療部の重点課題

井田病院地域医療部は、部の理念に掲げているとおり「地域医療機関との円滑な医療連携を図り、質の高い、安全で安心な医療サービスを地域住民に提供」するため、日々業務に取り組んでおります。そして、次の3点を部の重点課題としております。

1 地域がん診療連携拠点病院の認定更新

井田病院は『地域がん診療連携拠点病院』として、がんに関する検診から診療、そして在宅医療・訪問看護から終末期における緩和ケアまで行っております。

また、地域の医師や医療従事者との合同症例検討会・キャンサーボードや、医療関係者に対する緩和ケア講習会、地域住民へのがんに関する市民公開講座なども開催し

ており、まさにがんに対するトータルな診療、ケアを提供できる病院です。

川崎南部医療圏の『地域がん診療連携拠点病院』として、地域医療機関との連携を一層推進し、地域におけるがん診療の拠点としての役割を全うしなければなりません。

なお、平成 26 年度から『地域がん診療連携拠点病院』の指定要件の見直しが行われ、主に次の指定要件を満たすことが必須となりました。

(1) 診療実績に関する要件

- ア 以下の項目をそれぞれ満たすこと
 - (ア) 院内がん登録数 500 件以上
 - (イ) 悪性腫瘍の手術件数 400 件以上
 - (ウ) がんに係る化学療法のべ患者数 1000 人以上
 - (エ) 放射線治療のべ患者数 200 人以上

(2) 診療従事者に関する要件

- ア 放射線治療医師について専従へ厳格化
- イ 放射線診断医師について原則として常勤専任
- ウ 病理診断医師について常勤を必須化
- エ 放射線治療室に専任の常勤看護師を 1 名以上配置すること
- オ 緩和ケアに携わる看護師について公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師いずれかであること
- カ 相談員について「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)～(3)を修了した専従及び選任の相談支援に携わる者をそれぞれ 1 人ずつ配置すること
- キ がん登録実務者について専任から専従へ厳格化し、当該実務者は診療ガイドラインの改定等を踏まえ必要に応じて再度研修を受講すること

2 地域医療支援病院の承認

国が推し進める医療政策として『地域医療支援病院制度』があります。これは、「医療施設機能の体系化の一環として、患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有するものについて、都道府県知事が個別に承認している。」ものです。

地域医療部では、地域連携を推進するうえでの目標として、『地域医療支援病院』の承認を目指しております。

2014 年度に地域医療支援病院の基準が改正されました。改正の主なポイントとして、紹介率・逆紹介率の算定根拠となる初診患者、紹介患者、逆紹介患者の定義が変更となりました。また、地域医療支援病院申請の際に必須となる前年度の紹介率・逆紹介率の基準が次のとおり引き上げられました。

要件を満たすためには、地域の医療機関との連携を進めていくこと、個々の医療機関との連携を深めていくことが不可欠です。

(1) 紹介率逆紹介率の新基準

ア 紹介率が80%以上

イ 紹介率が65%以上であり、かつ、逆紹介率が40%以上

ウ 紹介率が50%以上であり、かつ、逆紹介率が70%以上

3 (仮称)健康管理センターの立ち上げ

井田病院は川崎市が実施しているがん検診、特定健診の実施医療機関として、2014年度は7869件もの検診・健診を行っております。このほかに人間ドックや自費検診等を1991件行っております。

井田病院再編整備構想により、2015年度から(仮称)健康管理センターが井田病院内にオープンする予定です。井田病院内の院内委員会である健診等運営委員会が中心メンバーとなり、同センターの立ち上げに向けて作業を進めております。地域医療部は同委員会の庶務を担っております。

V 2014年度の主な実績

2014年度の地域医療部の主な実績については次のとおりです。

この実績は、医師、看護師、コメディカル等、様々な職種の職員皆様による日々の業務の積み重ねや支援により築き上げられたものです。この場をお借りして御礼申し上げますとともに、より一層の地域連携のため、今後も御協力をお願いいたします。

なお、地域医療部の実績のうち、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、(仮称)健康管理センターの立ち上げなどについては、地域がん診療連携拠点病院推進委員会、地域連携委員会、健診等運営委員会の報告にて記載しております。

1 病診連携業務(予約業務、返書、診療情報提供書管理業務等)

地域の医療機関及び企業等から診察・検査・転院・救急外来受診等の紹介依頼を受け付けた。

また、継続的なフォローアップなど、地域の医療機関への通院が適切な場合は、患者の紹介元であった地域の医療機関へ再び紹介する業務(逆紹介業務)を推進した。毎日、退院予定の患者について、逆紹介が必要な患者の診療情報提供書が作成されているかを確認し、作成されていない場合は主治医に作成を促した。

2 退院支援業務

地域の医療機関と連携を図り、患者様の入院早期から受け持ち看護師、退院調整看護師及び医療ソーシャルワーカーが協同して退院に向けて準備を整え、退院後の在宅・転院相談など患者様・御家族が安心して退院を迎えられるように支援を行った。

また、一般病床区分7対1の報告に必要な転院先病床区分の追跡調査や、地域

がん診療連携拠点病院の現況報告のためのがん患者の受入及び退院の状況調査などを行った。

3 広報業務・地域医療研修等業務

毎月月初めに近隣医療機関に外来診療表を発送した。また、地域医療部だよりを 8 号刊行した。このほか、市民公開講座を 4 回、症例検討会を 2 回、放射線治療・化学療法研修会を 1 回、リウマチ・膠原病診療連携の会を 1 回、アミノインデックスがんスクリーニング勉強会を 1 回開催した。

※市民公開講座、症例検討会などの開催日時、テーマは別途掲載。

4 地域連携診療計画管理料の届出

施設基準の「地域連携診療計画管理料（大腿骨頸部骨折）」を新たに届出し、2014 年 8 月 1 日から算定開始となった。

5 地域がん治療連携計画策定料の連携保険医療機関（2015 年 3 月 31 日現在）

2014 年度は、新たに 4 医療機関と連携した。

連携保険医療機関名	がんの種類
Kークリニック	前立腺がん
いずみ泌尿器科皮フ科	前立腺がん
山越泌尿器クリニック	前立腺がん
あおば江田クリニック	前立腺がん
中村クリニック泌尿器科	前立腺がん
よこはま乳腺・胃腸クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肺がん
山高クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん
せやクリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん
いしいクリニック乳腺外科	乳がん
神田クリニック	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
たかはし内科	肺がん
玉川医院	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
さかもと内科クリニック	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
たかみざわ医院	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
中島クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肺がん
徳植医院	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
中橋メディカルクリニック	胃がん・大腸がん
つむらや内科	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん・前立腺がん
八木医院	大腸がん・肝臓がん・肺がん
大倉山記念病院	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
山本記念病院	胃がん・大腸がん
生駒クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん・前立腺がん
宮崎医院	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん・前立腺がん
島脳神経外科整形外科医院	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん・前立腺がん

6 紹介患者数、逆紹介患者数

	2012年度	2013年度	2014年度
紹介患者数	5,683人	6,504人	8,454人
逆紹介患者数	4,994人	5,991人	6,311人

注1) 紹介患者数は、紹介状持参患者数

注2) 逆紹介患者数は、診療情報提供料算定患者数

7 紹介率、逆紹介率

	2012年度	2013年度	2014年度
紹介率	49.5%	48.9%	55.0%
逆紹介率	53.9%	61.4%	58.6%

8 市民公開講座開催実績

月日	場所	講師	テーマ
7月23日	中原休日急患診療所大会議室	婦人科 植木有紗	私ってがん家系？～家族性腫瘍の正しい理解のために～
9月25日	井田病院会議室	乳腺外科 嶋田恭輔	乳がん検診 受けてますか？
1月29日	井田病院会議室	感染症内科 中島由紀子	迫り来る新興感染症～デング熱・エボラ出血熱など～
2月26日	高津区役所 第1会議室	乳腺外科 嶋田恭輔	受けていますか？乳がん検診 「知っておきたい乳がんの知識」

9 症例検討会開催実績

月日	場所	テーマ及び講師
6月12日	井田病院会議室	第79回症例検討会 【第1部】井田病院におけるがんの最新治療 閉塞性大腸がんに対する大腸ステントを加えた治療戦略 消化器外科部長 玉川英史 【第2部】クリニック日常診療にちょっと役立つ専門医 のアドバイス 1 帯状疱疹 内服・軟膏の選択と治療期間 皮膚科部長 安西秀美 2 認知症治療 コウノメソッドの紹介 副院長 脳神経外科部長 小野塚聡 3 排尿困難 各種α1ブロッカーの使い方 泌尿器科医長 長田裕
12月4日	井田病院会議室	【第1部】井田病院におけるがんの最新治療 肺癌に対する胸腔鏡下手術（VATS）について 呼吸器外科部長 安彦智博

12月4日	井田病院会議室	【第2部】 クリニック日常診療にちょっと役立つ専門的アドバイス 1 睡眠薬の使い方のコツ 精神科部長 徳納健二 2 感染制御チームからみた抗生剤処方への注意点～井田病院の検出菌から～当院で呼吸器検体から分離した肺炎球菌、インフルエンザ菌の薬剤感受性結果について 感染制御チーム 小嶋由香
-------	---------	--

10 放射線治療・化学療法研修会実績

開催日： 9月4日

場 所： 井田病院会議室

テーマ	講師
放射線治療の副作用	放射線治療科部長 塚谷泰司
腫瘍内科と抗がん剤	ケアセンター副医長 西智弘
抗がん剤の副作用の対策 患者様への指導について	薬剤部担当係長 がん薬物療法認定薬剤師 荒井園枝
がん化学療法に関連する味覚障害についてのケア	看護部 がん化学療法認定看護師 渡邊恭子

11 リウマチ・膠原病病診連携の会実績

開催日： 3月22日

場 所： 井田病院会議室

開催内容	講師
【第一部】 RA領域における医療環境と今後の展望	中外製薬(株)
【第二部】 講演①当科におけるリウマチ膝の治療－症例報告－	整形外科部長 内田尚哉
講演②関節リウマチ診療における関節エコーの有用性	総合診療科 市村裕輝
講演③関節リウマチの最新の治療	内科医長 栗原夕子

12 AICS（アミノインデックスがんスクリーニング）勉強会実績

開催日： 10月9日

場 所： 井田病院会議室

開催内容	講師
【第1部】 「AICS（アミノインデックスがんスクリーニング）について～検査の概要について」	味の素株式会社
【第2部】 「AICS（アミノインデックスがんスクリーニング）の住民健診への応用～AICSを理解するために」	鳥取県南部町国民健康保険 西伯病院院長 木村修

（文責 地域医療部担当課長 岡部 和代）